

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

～学びの“今”をナビゲートする～ 第14号

令和元年
九月十八日

発行日：令和元年9月18日
発行：今金町教育委員会
編集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様々に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年4回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■第68回檜山PTA連合会研究大会が開催されました

第68回檜山PTA連合会研究大会・母親研修会今金大会兼ほっかいどう学力向上推進事業「子どもの学力・生活習慣改善研修会」が8月25日（日）に総合体育館あいきゅーぶで行われました。当日は杏林大学外国語学部教授の金田一秀穂氏を講師に招き、講演会を実施しました。今金町民文化講演会としても実施し、町民の皆さんの来場も含め約430名の方々に参加していただきました。

金田一先生は「言葉の教育」と題し、AIの発展により、人と人とのコミュニケーションがより大事となること、言葉はコミュニケーションの道具であり、人に心地良さをあたえることが大事である等、さまざまな事例を通してユーモアを交えながらわかりやすくお話ししてくれました。参加された皆さんも「楽しかった」「とても良い話だった」と満足そうに感想を語られ、私たちが普段使う言葉という身近なテーマを興味深そうに聞いていました。

（樋口）



▲講演中の金田一秀穂氏

今後の主な行事		会場
9月28日(土)	スポーツ少年団体カテスト	総合体育館
9月29日(日)	第3回健康まつり+第15回図書まつり	総合体育館
10月13日(日)	ファミリープロジェクト2019今金コレクション ファッションショー&ゴスペルコンサート	総合体育館
11月2日(土) ～4日(月)	今金町総合文化祭展示の部	総合体育館
11月10日(日)	今金町総合文化祭芸能まつり	町民センター
11月23日(土)	おかあさんといっしょ宅配便「ガラピコぷ～小劇場」	総合体育館

※詳細はチラシ等で随時お知らせいたします。日程等変更になる場合があります。

■ 国際交流夏のつどいが行われました

8月24日から9月1日までの9日間、中国・台湾・インドネシアの3ヶ国の留学生が今金町でホームステイをしました。国際交流夏のつどいとは、ホームステイを中心として町民のみなさんが国際理解や他国の文化・習慣を学ぶための事業です。

今回は料理交流、農業体験、日本文化体験（押し花、勾玉づくり）、各小学校・学童保育所への訪問を行い、多くの町民の皆さんと交流しました。農業体験では自分達で掘ったじゃがいもをフライドポ

テトにしてもらおうと、「今金町に来て、私たちはとても幸せです。」と喜んでいました。

今回ホストファミリーを引き受けてくださった吉田明弘さん、伊庭野修二さん、竹端静夏さんには大変お世話になりました。来年度はニュージーランドから高校生が来町する予定です。ぜひ、異文化交流、国際交流として多くの皆様からのご協力をお待ちしております。この度ご協力くださいましたみなさま、本当にありがとうございました！（齋藤）



▲表敬訪問



▲種川小学校との交流



▲離町セレモニー

■ 第7回ピリカふれあいマラソン大会が開催されました

8月4日、美利河地区を会場にピリカふれあいマラソンが開催されました。札幌市や函館市など道内各地から約160名の参加があり、それぞれ1.5m・3km・10kmのコースに挑みました。当日は雲のない青空が広がりましたが、気温が高く、汗を拭いながら走る姿が見受けられました。競技後は今金和牛が当たる楽しみ抽選会を開催し、大いに盛り上がりました。

興味がある方は、来年も開催予定のふれあいマラソンに参加してみませんか？美味しい今金和牛が当たるかも…？

入賞者は右の表のとおりです。今金町教育委員会のホームページにも記載しています。（齋藤）

ピリカふれあいマラソン入賞者一覧

【小学1～2年生 男子の部】 (敬称略)		
2位	向井大貴	7分02秒97
3位	竹端義仁	7分18秒07
【小学1～2年生 女子の部】		
1位	松田菜那	7分43秒88
2位	石塚雅姫	8分07秒34
3位	鷲野詩	8分07秒74
【小学3～4年生 男子の部】		
1位	金子泰輔	6分46秒19
2位	向井太一	6分51秒69
3位	吉本諄也	7分18秒51
【小学3～4年生 女子の部】		
3位	小田島里桜	7分11秒54
【小学5～6年生 女子の部】		
2位	松田美羽	14分29秒38
【高校生～49歳 (3キロ) 男子の部】		
2位	笹森孝丸	10分28秒32
【高校生～49歳 (3キロ) 女子の部】		
2位	初山小枝子	18分40秒91
【高校生～49歳 (10キロ) 女子の部】		
3位	山田みゆき	53分13秒89
【50歳以上 (3キロ) 男子の部】		
3位	宮越政彦	16分58秒72
【50歳以上 (3キロ) 女子の部】		
1位	宮越房子	17分03秒81

※今金町の参加者のみ記載しております。



◀選手宣誓
今金高等養護学校3年
高橋希龍くん

▶スタートの様子



「あいきゅーぶ」行っていますか？

教育委員会 ^{なが}永 ^い井 ^{あきら}章 委員



8月25日(日)、約430名の参加をいただき、檜山PTA連合会研究大会が「あいきゅーぶ」で開催されました。あいきゅーぶには広いエントランスがあるため、混雑は見られなかったように思います。

金田一秀穂先生による「言葉の教育」の講演の中で、最近「きまりが悪い」という言葉を聞かないし使わなくなったと話されていました。はて？きまりが悪い？「きまりが悪い」とは、恥ずかしいや他に対して面目が立たないという意味なのですが、考えてみると「きまりが悪い」は実際使わないし言わない～と思いました。

それから、最近の若者は「考える」ことをしなくなっていること、「教える」ことは人と人でなければうまく成り立たないことであると話されていました。

ところでみなさん「あいきゅーぶ」に行っていますか？正式名称は今金町総合体育館です。

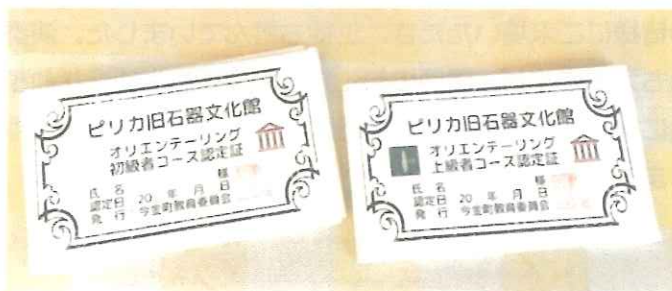
総体と聞くとスポーツや運動、体力づくり等が中心の施設だと思えますよね。ですが、総合という言葉には「いろいろなことが出来る」という意味があるのではないのでしょうか？

今月末には、健康まつり+図書まつり、10月には、北翔大学と連携してのファッションショーとゴスペルコンサート、11月は総合文化祭が開催されます。まさに「総合」ですね。

この「あいきゅーぶ」は、いろいろなジャンルでの利用が考えられます。多くの町民の皆さんに使っていただいて、今までにないような利活用が出来るかと素敵ですね。

■ピリカ旧石器文化館「オリエンテーリング」に挑戦を！

このたび、ピリカ旧石器文化館の展示内容をテーマとするオリエンテーリングを始めました。展示室入口に用具一式があり、誰でも取り組むことができます。展示テーマの順に10問の設問に答えるもので、初級者コースと上級者コースの2コースがあります。いずれも展示物に答えが隠されています。それぞれ全問クリアすると、名刺サイズの公式認定証がもらえます。ぜひ挑戦してみてください！



▲全問正解者の方には「認定証」を贈呈します

■夏休み学習室開放を実施しました

7月25日・26日・31日と8月1日・2日の5日間、町民センターの各部屋を学習室として子どもたちに開放しました。

また、学習支援ボランティアとして元教員6名に協力をいただき、子どもたちへの学習補助やアドバイスを行いました。期間中はのべ57名の子どもたちの利用がありました。

利用者アンケートから、「とてもすずしく快適でした」「友達がいてやりやすかった」「先生が詳しく教えてくれたからよかった」「開放日を増やしてほしい」などの声がありました。今後の長期休業期間も実施する予定ですので、ぜひご利用ください。

(大場)



社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長	天沼 寧	副委員長	山崎 周一
委員	野本 雅明	委員	米田 昌
委員	苅屋 滋子	委員	久ヶ澤サユミ
委員	池田 誓哉	委員	村瀬 一人



ミュージックサマースクールに参加して

副委員長 ^{やま} ^{ざき} ^{しゅう} ^{いち} 山崎 周一 (自営業)

社会教育委員の山崎です。今年も開催されましたミュージックサマースクールに参加させて頂きました。ミュージックサマースクールとは今金町、せたな町、八雲町、長万部町の4町連携事業で、プロの講師を招き、指導をとおして各町の中学校吹奏楽部の技術向上や音楽の楽しさを感じる事業です。町民の皆様のご協力もあり、おかげさまで今年で6回目を迎えることが出来ました。

今回も札幌交響楽団の団員の方をはじめ、多くの講師の方々に生徒をご指導いただきました。毎年練習風景を見ていますが、生徒たちの真剣な表情や緊張感、また積極的に講師の先生に質問している姿には、去年より生徒たちの成長を感じ頼もしく思いました。7月末に開催された吹奏楽コンクールでは、この事業で学んだ成果を発揮し金賞を獲得した中学校もあり、生徒たちの成長に驚いています。

また、スクールの終わりに生徒や講師の演奏が行われ、多くの町民の皆様にご来場いただき、生徒も喜んでいました。演奏が上手くなるのも大事ですが、講師の先生方への挨拶や生徒達が他校との交流、事業に携わる父母の皆さんに感謝を感じる事の出来る事業だったと思います。

▶ ガラコンサートの様子



おらが学校 ~ニュージーランドの教育体制

委員 ^{よね} ^た ^{まさし} 米田 昌 (今金小学校校長)

今年の7月27日から8月2日の1週間、ニュージーランドへ教育視察に行き、様々な刺激を受けてきました。そのいくつかをご紹介します。

まず、国の教育へのお金のかけ方(GDPに対する教育予算)を見ると、ニュージーランドは6.3%で日本は3.47%。因みに、OECD諸国の平均は5%です。国の教育政策の基本方針は、「平等」ではなく「公平」。経済的に豊かな地域には基本予算だけを交付し、貧しい地域にはそのランクに応じて予算を多く交付して経済要因による教育格差を埋めます。そして、教育の責任は、その学校がある地域に任せられます。学校の質の善し悪しは、その地域の責任と見られるのです。

そこで、その責任を持つ組織が学校運営協議会(Boards of Trustees)。いわゆるコミュニティ・スクール(CS)の核になる所です。地域住民の選挙で選ばれた保護者や地域の有識者が委員になります。北海道の公立学校は、校長が推薦し教育委員会が承認・委嘱するという違いがあります。ニュージーランドのCSには、学校の教育支援をするために、運動や学習をサポートするグループがあります。また、リサイクル活動やランチ販売活動などをして得た利益を学校に寄付し、教育予算の支援もします。校長も公募し、自分たちの期待に応えうる人物を採用します。まさに、「おらが学校」のために地域で学校を支えているのです。